

株式会社エクス 様

経験とデータマイニングで
製造業向け新サービスを創造

生産管理システム構築のスペシャリスト集団として、あらゆる規模、業種、生産スタイルに対応した「Factory-ONE 電腦工場」シリーズを展開しているエクス。製造業を知りつくした同社の視点とVisual Mining Studioにより、製造業向けデータ分析サービス「Factory-ONE Asyst」を開始した。



総合研究室 主任研究員
坂本 知彦 様

Interview

システム構築で得た知見を、お客さまのために活かす

なぜ、データ分析サービスを始められたのですか。

坂本 お客さまに新たな付加価値をお届けしたい。それがこのサービスの原点です。弊社は創立から20年が経過し、これまで1,200社以上のお客さまに「Factory-ONE 電腦工場」をお届けしてまいりました。これだけ長い間、しかもあらゆる業種で数多くのお客さまとお付き合いさせていただくと、“ツボ”が分かるようになります。生産に関するデータやその周辺データを拝見すると、内包された問題や改善点などが見えてくるのです。そうしたデータ分析を、売上げ拡大やマーケティング、納期遵守やリードタイム短縮といった課題解決に役立てていただけたら、と考えたのです。

御社にとって、まったく新しい取り組みですね。

坂本 社内に蓄積されたノウハウという「知」を標準化し、分析サービスというかたちにできないか、という試みでした。私たちは開発会社ですから、データ分析についても当初自分たちでプログラミングをしたり、オープンソースを利用したり、データ加工したりと試行錯誤を繰り返しました。そのような中、社外に目を向けるとデータマイニングというツールの存在を知り、このとき初めてVisual Mining Studioに出会いました。

「Factory-ONE Asyst」の標準分析テーマ

経営	顧客	業務
売上拡大/マーケティング (P)		資源有効活用 (R)
コストダウン (C)		
経営分析 (A)	動作合理化 (M) 納期遵守 (D) リードタイム短縮 (T) 在庫適性化 (S) 品質保証 (Q)	
財務	営業	製造

「Factory-ONE Asyst」では、製造業の競争力強化に役立つ分析テーマを厳選し、標準で26メニューを用意している。

[裏面に続く]

PROFILE

株式会社エクス 様

1994年9月、大阪市でITベンダーとして創業。多大な信頼と実績を持つ「Factory-ONE 電腦工場」によるソリューション提供のほか、「Factory-ONE Asyst」のようなサービスで、製造業が抱える問題や課題を本質的に解決することを目指す。日本のものづくりを最新の情報技術で支えるソリューションベンダー。



Visual Mining Studio選定の理由は、どんな点でしたか。

坂本 5つくらいのツールを試してみました。試用版をインストールし、実際のデータで分析を試みました。その中で、やりたいことが思い通りにできたのがVisual Mining Studioでした。プロジェクト上でデータ加工しながら観察したり、グラフ化して傾向を見たり、デジジョンツリーでルールを見つけたり。実データを使用して最初の数回触った段階で狙った通りの分析結果が得られ、スタッフと一緒に盛り上がったのを覚えています。またさまざまなデータの中から求めるルールが発見できるツールだと実感できましたし、これなら私たちが考えているサービスに利用できると確信しました。

加えて、データがどのような状況でも答えを返してくれる、という点も気に入りました。他のツールは入力データに不備があるとエラーが出て分析が中断し、続行できない状態になります。しかしVisual Mining Studioはデータの不備があっても何かしらの結果が返されるため、その不備を正せば分析の精度を高めていくことができます。私たちが構築するシステムも、「生産」という、止めてしまうと大きな損害となる業務を管理するために、「答えを出し続ける」ことが基本。そういう共通点があるせいでしょうか、ツール全体の作りに対して非常に好感を得ましたし、使い始めてすぐにとけ込むことができました。

その他、分析の進め方や操作について、数理システムからはていねいなサポートもあり、スムーズに作業ができました。その点も他のスタッフから評価が高いですね。

2014年4月にこの分析サービスをリリースされました。

坂本 サービス提供前に「Factory-ONE 電脳工場」の導入先を対象にパイロットユーザーを募り、10カ月程度、テスト運用を行いました。結果はほぼ“空振り”のない状態で、役立つ情報が提供できたことで、ユーザー様からも高い評価をいただきました。その結果、正式に製品化を決定し「Factory-ONE Asyst」としてリリースしました。

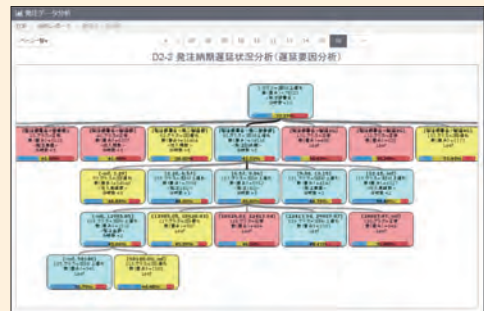
当初、弊社が構築した生産管理システムのデータを中心に分析することを考えておりましたが、実際にサービスを開始したところ、最近では営業日報など生産システム以外の業務データも併せて分析してほしい、というご要望も増えています。製造部門に限らず、自社のビジネス全体を見通してその課題や目標を捉えようということなのだと思えます。こうしたご要望にも、私たちの経験と知識、そしてVisual Mining Studioを利用することで柔軟にお応えしていきたいと考えております。

分析結果は専用Webサイトで報告

「Factory-ONE Asyst」はVer.1.1以降、分析結果をドキュメントではなく、専用Webサイトによる報告形式とした。それにより、分かりやすさ、即時性、データの共有化・一元化を実現している。



データ間の関係性分析



問題発生条件のデジジョンツリーによる分析

新たな分析サービスは、生産管理システムの進化も促した

これからの展開や目標などをお聞かせいただけますか。

坂本 このサービスを開始してから、製造業の経営者の方とお会いすることが増えました。データを通して、ビジネス全体を革新していこうという経営者の方の意欲や熱意を感じます。私たちもそれにお応えできるように、サービスの質や内容をさらにブラッシュアップし、分析メニューを拡充してまいります。

一方でこのサービスは、「Factory-ONE 電脳工場」の設計にもヒントをもたらしています。導入後、データ分析に活用できるよう所でログの取得を付加するなど、新たな改良が進んでいます。今後、「Factory-ONE 電脳工場」は生産管理とデータ分析が一体化した、より総合的なシステムへと成長していくと確信しております。

私は、お客さまに“驚き”をご提供することが楽しいと思っています。できなかったことができるようになった、改善した、そういった驚きをこれまではシステム化によって提供してまいりました。それに加えてこれからは、生産や業務で日常的に蓄積されるデータの中から、気付かなかった課題や次のビジネスのヒントが浮かび上がってきた、そんな新たなサプライズをお届けしていきたいと思っています。

【お問い合わせ先】

「Factory-ONE Asyst」のサービス内容の詳細はこちらへお問い合わせください。
株式会社エクス TEL:06-7711-1161